令和8年度　犬山市障害者自立支援協議会　子ども部会　活動報告（令和8年7月31日時点）

資料3

内容：遊びの提案会

〇日　時　令和8年5月21日(木)10:30～12:00
〇内　容　①療育と五領域について
　　講師：児童発達支援センター喜璃夢　瀧川由紀子氏
　②新聞紙を使った遊びの提案会
〇参加者数　13事業所　25名
【グループA「フルチョコ」】：新聞切り
概要：新聞から文字を切り抜き、白い紙に並べて文章を作成する
ねらい：文字の形への興味（認知能力向上）、協力して作品作。
配慮：文字探しに時間がかかる子どもには大人や友人と一緒に探す、こだわりが強い子どもには役割分担
【グループB「ローコスト」】：新聞紐引き
概要：新聞を縦に細かくちぎり、テープで長くつなげて引っ張る
ねらい：協調性、指先運動、全身運動、準備・片付けの習慣化
アレンジ：2人で協力、足を使う、人数変更、回収したものでボール遊び
【グループC「チーム夢の国」】：ドリームハウスを作る
概要：新聞紙で子どもが入れる大きさの家を作る
ねらい：協力、できあがりをイメージする力、手先・指先の巧緻性（くるくる巻きで強度を高める）
支援：ルールの確認、選択肢提示、得意なことを活かす支援
【グループD「チャッピー」】：新聞紙テント作り
ねらい：協力、最後までやり抜く、自己発見、協調性、達成感、想像力、コミュニケーション、ルール遵守
ポイント：失敗してもやり直しがきく、できることを見つける
【グループE「ホクリム」】：玉入れ
概要：新聞紙でボールを作成し、玉入れを行う
ねらい：ボール作成時の指先・手首運動、形の認識、投げる際の順番遵守・力加減調整、達成感（ご褒美シール）、片付けの習慣化
応用：ボールの色によって力加減を意識させる
【グループFチーム「ポテサラ」】：ファッションショー（1日かけて）
概要：午前中に服を作成し、午後に花道を作成してファッションショーを行う
支援：ファッション雑誌などで導入、職員が手伝う、ペア制による協力、テープやのりの適量使用の練習、広告を活用した色の表現
その他：輪投げも検討したが時間不足。新聞紙を絞る動作は雑巾練習にも繋がる可能性
〇子どもたちの多様な特性を考慮しながら、これらの活動を活用
　同じ活動が一つもなく、意識して提供することに意味がある

内容：応急手当及びエピペンの使い方講習

〇日　時　令和8年6月18日(木)10:30～12:00
〇内　容　①応急手当の講習
　　講師：犬山消防北出張所　救急担当　6名
　②エピペンの使い方講習
　　講師：尾北薬剤師会犬山支部　薬剤師　原 宏太郎 氏
〇参加者数　34名
〇応急手当の講習
・倒れている人がいたら・・・
　・声かけ、反応・呼吸の確認　→人を呼ぶ
　・119要請、AEDの準備、AEDと胸骨圧迫の実技
　・救急隊に引き継ぐまでの注意点　等
〇エピペンの使い方
・アナフィラキシー症状の進行を一時的に押さえ、ショックを防ぐための処置
・練習用エピペンを用いて、実技講習
※太ももの前外側に強く押し当てる
※暴れる場合があるので、タオルケットなどで一時的に拘束する
　→万一に備え、必ず事前に保護者の同意を得ておくこと
　　処置中の一時的な拘束とすること
・救急担当に確認
　→実際にエピペン使用後の患者を搬送した実績はない
　　初めて発作を起こした際の要請がほとんど
〇参加者の感想
・エピペンの使用について恐怖感があった
・実際にエピペンを使用したことはないため、いい学びになった







令和8年度　犬山市障害者自立支援協議会　子ども部会　活動報告（令和8年7月31日時点）

内容：特別支援教育夏季研修会

○日　時　令和8年7月17日(金)13:00～15:00
○場　所　犬山市民交流センター　2階　201.202研修室
○内　容　①各学校の活動紹介
　　②講演「特別支援学級等で過ごした児童生徒の卒業後の
　　進路について」
　　講師：相談支援事業所 伽耶 川治真利子 氏
　　③座談会(12グループ)
○参加者数　79名（学校46名＋障害系事業所32名＋県1名）

○参加者の感想
・他校の取組にたくさんのアイデアをもらえた。
・卒業までに習得しておきたいことなど、今子どもたちに大切なこと、支援で身につけさせたい力がよく分かった。
・教育と福祉の連携を図る、このような機会が今後もあると嬉しい。
・学校と事業とで見えているものや視点が違うことが座談会で分かった。連携や情報共有の仕方を工夫したい。
・子どもたちの将来を見すえた授業、指導を心がけたい。

○座談会にて
・進路を考えながら社会性が持てるよう考えていく。
・勉強も大事だが、実はコミュニケーション力や人と関わるのが難しいなど、その子を知ることが大事。
・保護者の思いと本人の思いの違いがあり、お互いに苦しい。
・18歳までに特性を理解して、外部機関とつながる必要がある。

【当日の様子】





